

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年7月17日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年7月17日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【淡水化装置(RO3-2) 高圧ポンプ電源ケーブルの端子カバーの変色について】 協力企業作業員が淡水化装置(RO3-2)の運転状態を確認していたところ、分電盤内の高圧ポンプ電源ケーブル赤相端子の絶縁カバーが変色していることを確認。 念のため、淡水化装置(RO3-2)の運転を停止し、淡水化装置(RO3-1)に運転を切替えた。 今後、原因の調査と対策の検討を実施予定。 なお、他の淡水化装置(RO3-1, 3, 4)の3系統について、類似箇所の点検を実施し異常が無いことを確認済み。</p>	GⅢ	7月13日
2	<p>【既設多核種除去設備(A)の共沈タンク水位等の伝送不具合について】 当直員が既設多核種除去設備(A)のクロスフローフィルタ洗浄時に現場の共沈タンク(A)水位計の指示値は変動しているにもかかわらず、免震重要棟の監視盤の水位計指示値が変動していないことを確認。 確認したところ、共沈タンク(A)水位、クロスフローフィルタ(A)逆洗空気圧力等の信号が免震重要棟の監視盤に伝送されておらず、現場検出器からの信号を伝送するための基板にエラー表示が出ていることを確認。 今後、伝送基板の交換を視野に入れ対応を検討。 なお、既設多核種除去設備(A)は点検により停止中であるため、運転に支障はなし。</p>	GⅢ	7月14日
3	<p>【6号機 計装用空気系空気圧縮機(A)冷却水入口弁の操作が困難なことについて】 当直員が6号機 計装用空気系電気品点検のため、空気圧縮機(A)の冷却水入口弁(手動弁)の閉操作を行なった際、弁操作ハンドルの動きが悪く操作が困難なことを確認。 当該弁は通常「全開」運用のため、計装用空気系の運転に影響なし。 今後、当該弁の点検を実施予定。</p>	GⅢ	7月15日